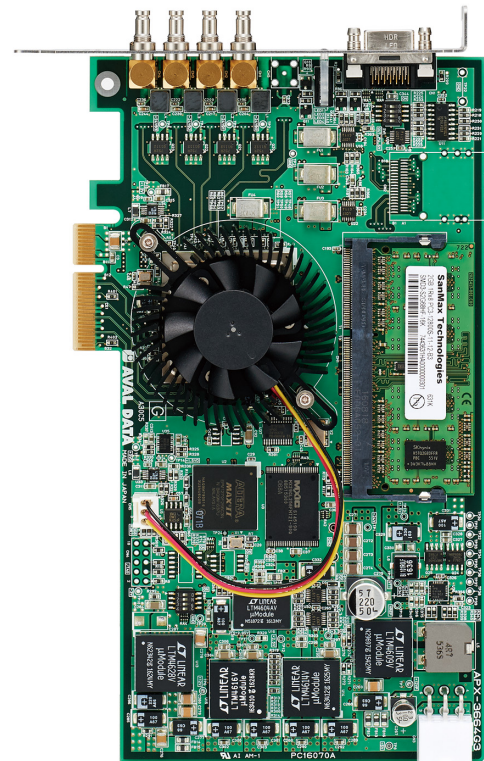


PCI Express3.0 に対応したマシンビジョン向け CoaXPressI/F 画像入力ボード「APX-3664G3」を開発！

株式会社アバーलデータ（以下アバール、代表：広光 勲、本社：東京都町田市旭町1-25-10、URL：<http://www.avaldata.co.jp>、E-Mail: sales@avaldata.co.jp）は、CoaXPress インターフェース(以下 I/F)画像入力ボード「APX-3664G3」を新たに開発、2017年3月27日より発売開始する。

今回開発された「APX-3664G3」は、従来より販売している CoaXPress I/F 画像入力ボード「APX-3664」の PCI Express 部に PCI Express 3.0(Gen3)8GT/S×4 インターフェースを装備し、PCに装着して高速なイメージキャプチャーを実現する。CoaXPress の Quad カメラ 1 台または Dual カメラ 2 台または Single カメラ 2 台を接続可能。オンボード上に FIFO メモリや Work メモリとして使用可能な DDR3 SO-DIMM を装着している。



製品名 : CoaXPressI/F 対応画像入力ボード
型式名称 : APX-3664G3
受注開始 : 2017年3月30日
出荷開始 : 2017年3月30日
販売予定価格 : ¥220,000 (消費税別)

■ 製品に関する問い合わせ先

株式会社アバーलデータ 営業部
電話：042-732-1030 FAX：042-732-1032
電子メール：sales@avaldata.co.jp
ホームページ：<http://www.avaldata.co.jp>

News Release

AVALDATA CORPORATION

■ APX-3664G3 の特長

- カメラ入力は CXP Quad に対応、同軸ケーブル 4 本で最大 25Gbit/s の高速伝送
- 同軸ケーブル 1 本でビデオ、制御、電源を転送
- フロントパネルの LED でカメラの状態を確認
- 画像バッファとして DDR3 メモリを 2GB 搭載
- エンコーダ信号入力(RS-422)による画像入力制御が可能
- 画像入力制御/エンコーダ開始用外部トリガ(TTL またはオープンコレクタ)を装備し、外部のタイミングでの画像入力開始が可能
- 外部機器との I/F 用に汎用入出力ピン(TTL またはオープンコレクタ)を装備
- システム bus は PCI Express 3.0 (Gen2) 8GT/S×4 となっており、DMA で PC へ高速転送した場合に 3.2GByte/sec(平均)のハイパフォーマンスで転送
- RoHS 対応製品

■ APX-3664G3 の主な仕様

項目	仕様
型名	APX-3664G3
システム bus	PCI Express 3.0(Gen3) 8GT/S×4
画像入力 I/F	CoaXPress Rev1.1
	CXP-6 Quad(25Gbit/s) x1 ※1 カメラ接続
	CXP-6 Dual(12.5Gbit/s) x2 ※1~2 カメラ接続:非同期可
	CXP-6 Single(6.25Gbit/s) x2 ※1~2 カメラ接続:非同期可
	DIN 1.0/2.3 4 個搭載(9mm 間隔で配置)
画像入力データ	8,10,12bit モノクロ/RGB
カメラ電源出力	Power Over CoaXPress: +24V(13W)x4
	※ボード内部で+24V 電圧生成
オンボードメモリ	DDR3 SO-DIMM(PC3-12800[DDR3-1600])
	2GB
画像処理	なし
汎用 I/O	SDR コネクタ
	汎用入力: 8ch(TTL/オープンコレクタ)
	汎用出力: 4ch(TTL/オープンコレクタ)
	RS-422 入力: 4ch
割り込み	画像入力開始、DMA 終了、GPIN 等
FPGA 温度監視	あり
電源	+12V±8% (PCI-Express コネクタ)
	+12V±8% (外部コネクタ: PoCXP 専用)

News Release

AVALDATA CORPORATION

環境	動作温度:0~50°C 湿度:35%~85%(無結露)
外形(基板)寸法	190mm×111.15mm(突起物含まず)
対応 OS	Windows
ソフトウェア(オプション)	開発キット:SDK-TransFlyer

■インターフェース(パネル面)



■APX-3664G3 ブロック図

